



打合せの様子



茶葉をティーバッグに入れる様子



鹿野の町並み

## 「鹿野和紅茶プロジェクト」

かの高原開発 × ふれあい作業所「鹿音」 × 鹿野町商工会 × 鹿野ブランド創出研究会

- 教育・子育て     地域づくり     福祉・健康・医療     産業・観光     その他（国際交流）  
 生涯学習・人材     安心安全     都市基盤     環境共生



鹿野和紅茶



開発中のパッケージ



茶畑

### 鹿野地域のお茶文化の復元を目指す

1. 新たな特産品（鹿野和紅茶）の開発
2. 地域資源（茶樹）の活用
3. 地域固有のお茶文化の継承
4. 新たな担手の確保

### PROJECT POINT

- 1 鹿野茶と同一の茶葉を使った『紅茶』を開発し、『鹿野和紅茶』として商品化に取り組む
- 2 『鹿野和紅茶』の生産量の増加を図り、地域固有のお茶文化を継承する

### APPROACH 特産品開発による地域文化復興と活性化

#### “鹿野和紅茶プロジェクト”の取り組み

鹿野は過疎化の進んだ小さなまちだが、古くからお茶文化の歴史がある。この歴史ある鹿野茶をもう一度復興していくために、紅茶を開発し『鹿野和紅茶』として商品化に取り組んでいる。実際に製造した鹿野和紅茶を試飲して評価していた取り組みの中で「香りが良く飲みやすい」などの声をいただいており、これからの商品化に期待を寄せている。また、ふれあい作業所鹿音は、高齢者支援をする事業所だったが、障害者の就労に関わる作業所を開設し、主に施設の清掃や環境整備を行ってきた。これまでは無形なものが多かったため、何か形に残る作業を行うことで障害者の方に作る喜びを感じてもらいたいと思っている。

#### “鹿野和紅茶プロジェクト”の目標

鹿野和紅茶の製造・販売により、地域資源（茶樹）の活用による生産拡大、ふれあい作業所鹿音との連携による地域の新たな産業創出ができた。また、地域内の飲食店でのメニュー展開も含めた特産品化を図り、観光資源としての活用による鹿野地域への集客拡大など、地域の活性化に繋げていきたい。鹿野地域でも改めて鹿野のお茶文化を見直すきっかけとなり、多くの人と関わりながらこれからも地域活性化のために商品開発を進めて行く。